

## 【JISA IT アーキテクトコミュニティ主催イベント】

### 「デジタル時代の IT アーキテクト」開催

平成 30 年 2 月 22 日、JISA 会議室において、JISA IT アーキテクトコミュニティ主催イベント「デジタル時代の IT アーキテクト」が開催された。出席者は 75 名。講師は、株式会社アークウェイより森屋英治氏（代表取締役）を招いた。

森屋氏は、ユーザー企業向けの開発プロセス、開発テンプレート作成、マイクロソフト関連技術の調査及びコンサルテーションを行っている。2008 年に策定した「アーキテクチャ策定」方法論に基づいた各種コンサルティングサービスを提供。多くの企業のアーキテクチャ戦略策定の実績を持っている。

講演では、アーキテクチャとは何かから始まり、最新のアーキテクチャを支える技術キーワードについて、また、これからの時代のアーキテクトに必要なことに言及があった。

最新技術も含め様々な技術の紹介があったが、例えば「Chaos Monkey」は、クラウド上で故意にシステム障害を起こすためのツールであり、Netflix は、このようなツールを利用してテストを繰り返すことでシステムの継続性を高めているとのこと。今までは、障害を起こさないように綿密にアーキテクチャを考えていたが、まさに発想の転換であり良事例であるとあった。



最後に、ビジネスは大きく分けて「big」と「new」の 2 通りある。ビジネス上のウエイトが大きく、リスクも低いビジネスが「big」であり、将来を見通しながら成功確率は低いが、リターンは大きい、また、ストレスフルなビジネスが「new」である。IT アーキテクトの皆さんは、是非「new」のビジネスに取り組んで欲しい。そこには新しい可能性があるのではと締めくくった。

(大原)